

神奈川県立音楽堂の指定管理者候補(案)について

神奈川県立音楽堂指定管理者外部評価委員会 審査結果（指定管理者候補（案））	公益財団法人 神奈川芸術文化財団
--	---------------------

1 神奈川県立音楽堂指定管理者外部評価委員会審査結果

<法人別・評価点>

団体名（受付順）（所在地）	選定基準別点数			合計点
	サービスの向上	経費の節減	団体の業務遂行能力	
PN共同事業体 （株式会社パシフィックアートセンター（東京都）、野村ビルマネジメント株式会社のグループ申請）	28	30	15	73
公益財団法人神奈川芸術文化財団 （横浜市）	46	18	19	83
サントリーパブリシティサービス株式会社（東京都）	45	14	16	75

：代表団体

<審査講評>

公益財団法人神奈川芸術文化財団

利用者や鑑賞者の濃密な記憶が蓄積されている「音楽堂」の歴史や個性を十分に理解していることや、古くから愛されている文化的な価値を持つ「木のホール」の特性を生かし、メリハリのある実現可能性の高い提案がなされている。

特に「アーカイブ」の発想は、平成26年に開館60周年を迎えるにあたり、音楽堂に保管されているポスターやプログラムなどの資料をデータ化し、「音楽堂アーカイブ」を活用した、展覧会、ミニ・コンサート等を多彩に企画するものであり、新鮮であり、評価できる。

当施設に県民から求められる視点を十分理解した提案であり、音楽堂の特性を踏まえた効果的な活用が期待できる。

総合的に判断して、最も優秀な提案者とした。

サントリーパブリシティサービス株式会社

全体的に分かりやすく優れた提案を行っている。斬新さがあり、公演内容も期待できる。60周年公演は、大変魅力的な提案だった。全国展開によるスケールメリットが強調されたが、反面、そのメリットが「音楽堂」の個性や歴史を踏まえた事業構成においてどう生かされるのか、明確に説明がなされなかった。県民目線により近い位置で、他ホールとの違いが示されると、よかった。

運営体制について、他申請者と異なり、館長をはじめとする現場責任者の人選が明らかでない点で、運営体制の確証がつかみにくかった。また、経費の節減という点で評価が低くなった。

2 神奈川県立音楽堂指定管理者外部評価委員会結果に対する県民局意見

審査結果について

賛同する ・ 検討の必要有り

神奈川県立音楽堂指定管理者外部評価委員会での審査結果を確認したところ、公益財団法人神奈川芸術文化財団の評価点の合計が83点となった。県の求める業務水準を満たし、県立音楽堂の指定管理者候補として最もふさわしいと判断する。

県民局としても、優れていると評価した内容には、次のようなものがあった。

神奈川県立音楽堂の設置目的や、公の施設としての公平性、平等性を十分に理解した指定管理者としての基本姿勢を有している。

利用者や鑑賞者の濃密な記憶が蓄積されている「音楽堂」のホールとしての歴史や個性を十分に理解していることや、古くから愛されている文化的な価値を持つ「木のホール」の特性を生かし、メリハリのある実現可能性の高い提案がなされている。

県民に開かれた音楽芸術活動及び鑑賞の拠点として、木のホールの音響と空間を活かす公演の提案がなされており、県民が音楽の豊かさを体験できる多様で質の高い鑑賞普及事業の展開をはかり、音楽堂の音響を活かした古楽公演や「音楽堂バロック・オペラ」の実施、「音楽堂ヴィルトゥオーゾ・シリーズ」での世界一流の「巨匠」演奏家の公演の実施が提案されている。

平成26年に開館60周年を迎えるにあたり、音楽堂の建築・歴史への関心を高め、県民の知的好奇心を刺激する企画として、開館以来、音楽堂に保管されているポスターやプログラムなどの資料をデータ化し、展覧会、ミニ・コンサート等を多彩に企画しており、音楽鑑賞の契機の拡大にも努めている。

なお、次点であるサントリーパブリシティサービス株式会社は、「事業実施に関する業務」は同点と評価されたが、運営体制について、他団体と異なり、館長をはじめとする現場責任者の人選が明らかでない点で、運営体制の確証がつかみにくかったことや、経費の節減という点で評価が低くなり、評価点の合計で、公益財団法人神奈川芸術文化財団に及ばなかった。

また、団体の事業規模の大きさが、音楽堂の歴史や個性を踏まえた事業展開に、どのように生かされるのか十分な説明がなく、このホールならではの文化特性を積極的に活用したり、その歴史に根ざした次の時代を築く理念が比較的脆弱であったり、計画の具体性、盛り込まれたアイデアが何故県立音楽堂でこそ実現されなくてはならないかという積極的な理由を提示できたとは言えなかった。

なお、外部評価委員会から「管理経費の節減等」に係る審査項目「(1)提案額」の評価方法に関して自分たちで評価方法を決定し、その方法に基づき評価をしたいとの趣旨の意見があったので、局として、これを真摯に受け止め、今後のより良い制度のあり方について検討、提案したい。